

# 京橋の印刷

4月30日 2014・No.122

東京都印刷工業組合京橋支部  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-9  
京華スクウェア2F  
電話 3552-1855 FAX.3297-3790  
http://www.kyobashi-shibu.org  
発行人 森山照明

● 巻頭言 森山照明	1	記念講演会②	10
● 創立90周年記念式典	2	「節電うちわ」区内小学校等へ贈呈	12
● 平成25年通常総会開催	7	第34回中央区子どもフェスティバルに出展	13
● 記念講演会①	8	支部の動き	14

## 2年間を振り返って

支部長 森山 照明

皆さんこんにちは、日頃は支部運営にご協力いただきありがとうございます。2年がたとうとしています。

私が支部長に就任し、2年がたとうとしています。その間、中央区工業団体連合会50周年、京橋支部90周年事業として、節電うちわの作製、資生堂企業資料館館長の講演、自由帳の配布、ミズノプリンティングミュージアム水野氏の講演、そして帝国ホテルでの記念式典、祝賀会と大きな行事がありました。これらの行事を無事こなすことができました。これらのご協力なくしてはあり得ませんでした。大正11年に京橋支部が発足し昨年90年を迎えましたが、印刷の進歩、



槍ヶ岳山頂より笠ヶ岳を望む

活字からオフセット、オンデマンドとめまぐるしく変化を遂げている私たちの業協界です。2020年の東京オリンピックも決まり、マツカーサー道路もでき、都内のあっちこっちで再開発が始まっています。

私達にはまだまだ景気観に実感はありませんが、大手企業を見ますと増収増益、明るさが見えてきました。これから必ずいいことがあるに違いありません。

印刷の情報を共有し親睦の中で苦楽を分かち合っており、もうすこし頑張りましょう。これから先、印刷業は変化し進歩し続けることと思いますが、組合からの情報を逃すことなく吸収してください。近くにいる仲間からの情報も大事にしてください。

京橋支部も新しい支部長の時代になります。私にはできなかったことを、そして新しいことをはじめてくれることと思います。

支部員も減少傾向にありますが、なんとか維持できるように努力していただきたいし、近くにいる仲間へ声をかけて支部員になっていただけるように心がけてください。

最後になりますが、支部長に就任し、あつという間の2年間でしたが、皆様のお陰で無事務めることができました。

心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 創立90周年記念式典

東京都印刷工業組合京橋支部（森山照明支部長）は2月7日午後5時から、東京・内幸町の帝国ホテルで創立90周年記念式典ならびに祝賀会を挙行し、支部員、東印工組、関連業界、地元行政など約220人が出席して90年の節目を祝った。支部員らは「心を伝える未来へ」をテーマにソリユーション・プロバイダーとして次の100周年を通過点にいっそう躍進していくことを誓い合った。

記念式典は午後5時、「扇の間」で白橋明夫副支部長のあいさつで開式。80周年以降の物故者へ黙祷し、森山支部長が次のように式辞を述べた。

「京橋支部は1923年（大正12）9月25日、関東大震災を受け焦土と化した深い傷跡を乗り越えて創立し、都市計画が実施され『印刷工場の巢』と言われるまでに発展した。今日まで度重なる困難な時代を生き抜き、印刷業界を守り、これほどの産業に成長させた歴代先輩方のご苦労が偲ばれる。設立から今日まで38代の執行部が支部を支えてきた。業界環境は厳しさを増すが、希望を失うことなく歩を進めていこう」

続いて森山支部長から支部功労者へ感謝状を贈呈、表彰者を代表して宇野一男顧問（33代支部長）が「関東大震災、第二次世界大戦、高度経済成長、バブル崩壊、リーマンショックと、今日まで多くの激動を乗り越えた各時代の組合員の皆様の努力と情熱は尊敬の念に堪えない。支部の一員として脈々とつなが





本部役員経験、支部長経験の方々



副支部長経験、監査経験の方々



地区長経験の方々



る歴史の一時代を担うことができ、大変うれしく思う。次の100周年をますます盛大に祝福できること、そして次世代執行部の手腕に期待している」と謝辞を述べた。

来賓から島村博之東印工組理事長、水野雅生中央区工団連会長が祝辞をおくり、東印工組最大支部として支部のみならず東京の印刷業界のリーダーたる役割に期待を述べた。この後、永井博副支部長のあいさつで閉式した。

午後6時半からは会場を「光の間」へ移し、冒頭、京橋支部が昨年実施した90周年記念事業のようをオープニングムービーで紹介し、宇野一平副支部長のあいさつで祝賀会が開会し、森山支部長が次のように組合員へ奮起を促した。

「50周年当時30社、80周年当時180社いた支部員が現在は113社まで激減した。そんな折、『組合員であることが誇り』という30代の若者の声を聞いた。積極的に活動へ参加すれば東印工組が発信する有益な情報を手にできる。親睦しながら知識を増やし、助け合うのが組合。中小印刷業の景気回復までにはまだ時間がかかりそうだが、明けぬ夜はない」

来賓からは矢田美英中央区長、小西義雄東印組日本橋支部長、立石晴康東京都議会議員、小森善治(株)小森コーポレーション会長兼社長が祝辞を述べた。その中で小森会長は「企業には30年の周期があるという。100年を超え、次の120年を目指し、日本の印刷業界のリーダーとして活躍してほしい」と激励した。

この後、来賓らがステージに上がり、3つの菰樽をめたく開き、田嶋一彌顧問の「マンモス支部と言われながらまとまりが良いのは、文化と歴史を重んじ、モットーとする。和の精神を継承してきたから。90周年を契機に100周年へ向け関連業界、地域社会とともにますます発展していこう」との音頭で杯を挙げ開宴した。

祝宴では青年会・京青会が活動を紹介。十文字明雄会長が「京青会は若手経営者のまたとない研鑽の場、自分自身も仲間といふことで成長が実感できる」と述べ、支部員各社へ後継者の参加協力を呼びかけた。

東京藝術大学音楽部のストリング・カルテットの弦楽四重奏とプラス・クインテットの金管五重奏が会場を盛り上げる中、出席者は親睦の時間を大いに楽しんだ。宴半ば、松岡誠一郎顧問のあいさつで三本締め。

閉会にあたり小宮山貴史実行委員長が「90周年記念事業に際し、諸先輩方の偉業を称えつつ、現役のわれわれが将来の京橋の地へ何かメッセージを残したいと考えた。そこで一連の事業を通じ、『心を伝える未来へ』をコンセプトにこれまで印刷が担ってきた役割と誇りを再認識し、心を伝えるメディアを磨き上げる決意を新たにされた。経営環境は厳しさを増すが、先



記念事業スライド上映



乾杯を前にあいさつする田島一彌顧問



京橋支部印刷人青年会

輩方が乗り越えてきたように、われわれもすばらしい形でこの業界を次世代へバトンタッチしたい」とあいさつ、満場の拍手に包まれながら閉会した。

【創立90周年功勞者】

支部長 宇野一男（宇野印刷株）、松岡誠一郎（株文海堂）、羽生直（有羽生印刷）、小宮山貴史（小宮山印刷株）  
副支部長・監査 永井直裕（永井印刷工業株）、八代東海夫（八代印刷）、村上功（明文社印刷株）、生野茂男（弘報印刷株）、花崎博己（大東印刷工業株）、森山照明（株森山印刷）、田島久義（株久栄社）、森山徹太郎（株蓬萊屋印刷所）、永井博（永井印刷工業株）、白橋明夫（株白橋）、金山智一（金山印刷株）、尾島育四郎（三徳印刷株）、市川牧男（株三和印刷社）、小森彰（小森印刷株）  
地区長 永島洋二（冬水印刷株）、岩間家富（株ユニットプランニング）、濱野秀世（株三田村印刷所）、戸田誠一（株モリイチ）、竹山房雄（株シール竹山）、大橋正（有）大橋印刷所）、金山明裕（金山印刷株）、大嶋和十三（コクダイ印刷株）、長田光一郎（長田印刷株）、恒本平（株恒本紙工所）、伊森英明（昌平堂印刷株）、鎮目悠三（株美山堂）、細田剛（株金陽社印刷所）、中島太樹（中島印刷株）、十文字明雄（三雄舎印刷株）吉田太郎（有）吉田印刷所）、室田一郎（室田印刷株）、新井修次（研友社印刷株）、布施繁（山之内印刷株）、杉江俊昭（中和印刷株）、鈴木聡（銅版印刷株）、神林克明（神林印刷株）、加賀美健二（加賀美印刷株）、宇野一平（宇野印刷株）（敬称略）



## 平成25年 通常総会 開催

東京都印刷工業組合京橋支部（森山照明支部長）は5月23日、コートヤード・マリOTT銀座東武ホテルで平成25年度通常総会を開き、議案を原案どおり承認した。

森山支部長が次のようにあいさつ。「支部長に就任してあっという間の1年だったが、9月の全日本印刷文化典北海道大会、11月のへそ展（中央区産業文化展）、中央区工業団体連合会の創立50周年と、すべて大成功を収めることができた。今年支部は創立90周年を迎え、来年2月には記念式典を行う。こんな時期だからこそ、明るい話題をもって、10年20年先を見据えることが使命だと考えている。ご協力を切に願いたい」

平成24年度は11月のへそ展や工団連創立50周年事業の協力のほか、3月に戦略的CSRの講演会を行った。平成25年度は「親睦と相互扶助」を中心に、支部90周年事業、工団連と協力した地場産業活性化事業への参加などに取り組みむ。

京橋支部90周年行事は来年2月7日、新年会と併催で行う予定。



## 記念講演会①

### 資生堂 企業資料館 館長講演

# 「資生堂ものづくり・広告のこだわり」

東京都印刷工業組合京橋支部（森山照明支部長）は9月26日、東京・中央区の日本印刷会館で創立90周年記念講演会を開催し、東印工組他支部、関連業界の人たちを含め約11人が参加した。講演では資生堂企業資料館館長の磯田篤氏を講師に招き、「資生堂 ものづくり・広告のこだわり」と題して創業140余年の資生堂が歩んだ「一流のものづくり」と、それを消費者へ伝える企業ブランディングを学んだ。

森山支部長が開催にあたり、支部創立90周年記念事業として7月に中央区内小学校へ節電うちわ4000本を寄贈したのに続き、今回の講演会が記念事業第2弾であること、関東大震災直後の1923年（大正12）9月25日に創立したことなどを報告、「90年の年月と緒先輩方の功績を継承しながら新たな歴史を重ねていきたい」とあいさつした。

講演会で磯田氏は、広告宣伝で定評のある㈱資生堂がこれまで顧客の支持を得るために140年間手がけた宣伝媒体など約20万点を所蔵しているのが資生堂企業資料館（静岡県掛川市）であり、単なる展示にとどまらず社員に新たな業務のヒントを与える役割も担っていることを紹介。

1872年（明治5）、東京・銀座の地で調剤薬局からスター

トし、1階に店舗、2階には当時トップクラスの医師を迎え、まがい物を許さない、一流のモノだけを追及する徹底したこだわりが今日も企業風土の中核となり、常に最高のものづくりを実現しながら、それぞれの時代で憧れと流行、新たな女性像を生み出してきたことにも触れた。

ものづくりだけでなく「伝える」ことにも強くこだわった。メーカーというものは本来、商品を製造して流通へ卸せば終わりだが、資生堂はファンクラブ「花椿会」やギャラリィ、ミスシセイドゥによる近代美容劇、化粧方法を教える冊子などをつくり出し、情報を確実に顧客へ届けるためのチェインストア制度も確立した。

磯田氏は資生堂の魅力について、中身とパッケージの本物と追求しながら商品を通じて美の世界観を提案する「モノ」「コト」の創造力と、それをムーブメントにまで高めてきたチーム力、つまりブランドとして整えられた組織体制であると述べた。

そして、「資料館



を見ると140年前のロジックが現代のブレイクスルーのパワーと  
なっていることに気付く。常に無理難題を乗り越えて最高の技  
術を磨き上げる気概を忘れなければ、必ず商機はある。バーチャ  
ル時代だからこそ、実態あるモノの価値に若い世代も気付き始  
めている」と印刷業界へエールをおくった。

講演終了後、小宮山貴史90周年記念事業実行委員長が磯田氏  
への感謝とともに、次のように述べて締めくくった。

「磯田氏の話にあった、長い歴史の中で継承されているもの  
づくりと伝えることへのこだわりは印刷業界にも重なるものが  
多い。企業組織は30年で1サイクルと言われる。90周年を迎え  
た京橋支部はこれを3サイクルも乗り越えてきた。われわれに  
大切なのは次の30年を生き抜く気概と努力である」



## 記念講演会②

# ミズノプリテックミュージアム 見学と講演会

東京都印刷工業組合京橋支部（森山照明支部長）は11月11日、ミズノプリンティングミュージアム（東京都中央区）で支部創立90周年記念講演会の第2弾、「コミュニケーション革命の大変革『近代印刷は京橋から』」を開催し、同ミュージアム館長でミズノプリテック会長の水野雅生氏を講師に、言語・文字・印刷技術の三大発明により人類が辿ってきたコミュニケーション革命の変遷と、識字率を向上させ、大量な情報の複製と発信を実現することで産業・文化の発展に大きく寄与してきた印刷メディアの歴史に学んだ。

開催にあたり、ミズノプリテックの水野泰子社長があいさつ、続いて森山支部長が「印刷業界を取り巻く環境は依然厳しいが、本日は水野館長の講演に学び、日本の近代印刷発祥の地・京橋の企業として、今後もこの業界を継承すべく、コミュニケーションメディアを担っていかう」と呼びかけた。

水野館長は青年時代の1961年から独・ミュンヘン工芸大学で印刷工学を学び、翌年に英国ケンブリッジ図書館で現存する世界最古の印刷物がわが国の「百万塔陀羅尼」であることを知り、独・マイントのグーテンベルク博物館で実物を目の当たりにして大きな感動を覚えた。このことがきっかけで、印刷技

術のルーツに関する研究と関連史料のコレクションをライフワークとすることとした。

講演では現存する古今東西の情報伝達媒体とそれらが果たした役割、誕生した背景をミュージアムの所蔵品や資料を通じて解説。わが国にも目を向け、近代活字印刷を日本に初めて導入した本木昌造と、その弟子で英国製印刷機アルビオンプレスに学び自力で金属製活版印刷機を造り上げた平野富二を紹介。長崎の本木昌造の指示により東京・築地で開設した築地活版製作所、日本初の民間造船所（のちの石川島播磨重工、現株IHI）創設という平野富二の功績について触れた。

さらに、同コレクションであり、日本機械学会から機械遺産第17号に登録された平野富二による国産第1号の活版印刷機・アルビオン型手引き活版印刷機（1885年ごろ）を披露。水野館長がある時、活版印刷機が処分されるという情報をキャッチして見に行ったところ、処分される印刷機に平野富二による製造を示す「H」のマークが刻印されたことに気が付き、即座に入手し、メンテナンスを施して印刷が可能な状態に回復させたエピソードも明かした。

最後に、1998年から1999年に京橋支部長を務めた水野館長は、現在迎える第4のコミュニケーション革命、IT革命時代を生き抜くヒントとして、「ニューメディアの時代、これから情報技術の革新は進み、印刷産業を取り巻く環境もよりいっそう多様化していく。新たな印刷ビジネスの方向性が問われている。今後も情報・文化・産業の発展を支え続けていくためには、従来にはない技術とサービスの研究・開発が急務であ

る。次世代の情報コミュニケーションの形は京橋支部の皆さんの英知と若い頭脳に託したい」と結んだ。

閉会にあたり小宮山貴史90周年記念事業実行委員長が、水野館長への謝辞とともに「90周年記念事業も4回目を数え、残すは来年2月7日の記念式典および祝賀会のみとなった。中小印刷業は依然として景況改善が見られず、景況DIは全業種中で最悪となっている。しかし、落胆するのではなく、奮起する意気込みを持ち、ともに次の節目を迎えよう」と呼びかけた。



【ミズノプリンティングミュージアム】

住所 東京都中央区入船2の9の2（ミズノプリテック(株)6階）

電話 03・3551・7595

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 土曜、日曜、祝祭日

入館料 無料※訪館には要事前連絡

ホームページ 〓 [http://www.mizunoprietch.co.jp/04\\_museum/top.html](http://www.mizunoprietch.co.jp/04_museum/top.html)



## 「節電うちわ」 区内小学校等へ贈呈

今年で90周年をむかえる東京都印刷工業組合京橋支部（森山照明支部長）は節電と熱中症防止を呼び掛ける「節電うちわ」を計6000本制作、区立の小学校や養護学校などへ贈呈した。同支部がうちわを贈呈するのは3年目となり、今年度は京橋支部90周年事業の一環として行うことになった。

7月8日、京橋支部の森山支部長、白橋明夫副支部長、永井博副支部長、小宮山貴史監査、金山智一監査は区立佃島小学校（東京都中央区佃）を訪れ、うちわの贈呈式を行った。余郷和敏校長や児童たちに迎えられ、佃島小学校を代表し、同校6年生の5人が支部員からうちわを受け取った。児童は「うちわを利用して節電をしていきたいと思います。ありがとうございました」と述べ、受け取ったうちわでさっそく扇いだ児童からも、涼しいという声があがった。

森山支部長は「例年より10日ほど早く梅雨が明けて、暑い夏がきた。誰もいない部屋ではエアコンを消し、見ていないテレビも消すなど、自分のできる範囲でいいので節電をしてほしい。熱中症にならないように熱い夏を乗り切ってください」と児童たちに節電と体調管理を呼びかけた。

うちわの表は水のなかを泳ぐ金魚の写真に、遊泳する子供たちのイラストをあしらった涼しげなデザイン。裏面には前年か

ら引き続き「節電こつこつクイズ」を掲載、楽しみながら日常生活における節電対策と勉強が同時にできる。うちわを配布したのは、東日本大震災のときに「自分たちに貢献できることはないか」という思いがきっかけ。初回となった一昨年は、区立の小・中学校のほかに、支部員のネットワークを生かし、被災地NPOの協力を得て宮城県石巻市にも500本のうちわと学習帳を寄付した。



## 第34回中央区 子どもフェスティバルに出展

東京都印刷工業組合京橋支部（森山照明支部長）と東京都製本工業組合京橋支部（橋本勝政支部長）は10月20日、東京・人形町の浜町公園で開催された第34回中央区子どもフェスティバルに出展、両支部の今年の創立90周年を記念して、印刷・製本業が中央区の京橋地区で息づく歴史ある産業であることをアピールするオリジナルノート（自由帳）4500冊の配布を行った。

オリジナルノートは、本文に里山と生物多様性の保全、地域経済活性化を支援する国産竹パルプ10%を配合の竹紙、インクにVOCフリーインキ、印刷方式に水なし印刷を採用し、ISO10041認証工場で印刷した環境配慮型のノートとなっている。印刷・製本が森林資源を保全しながら自然環境と共存する地球にやさしい持続可能な産業であることも発信した。

製本加工は東京製本工組京橋支部の組合員企業、用紙は協賛紙卸商社の提供によるもの。今回は約5000冊を制作し、子どもフェスティバルで4500冊を配布した。また、表紙には2011年から東印工組京橋支部が区内小学校へ毎年贈呈している節電うちわの歴代の絵柄と、「心を伝える未来へ 京橋支部 創立90周年」のロゴを表紙に配置している。

森山東印工組京橋支部長は、「われわれ東印工組京橋支部が

日本の文化・情報の中心地である京橋の地で90年もの歴史を継承して来られたのは、印刷と切っても切れないパートナーの製本組合があったから。中央区の子どもたちや父兄の皆さんには、さまざまな情報メディアを手がける印刷・製本産業が地元にくる根付き、今日までわが国の情報コミュニケーションを支えてきたことに少しでも関心を持ってもらえたら」と、今回の趣旨を話した。



# 支部の動き

▽平成25年

4月4日(木) 本部支部長会  
於・日本印刷会館2階

4月11日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

4月18日(木) 本部理事会

於・日本印刷会館2階

4月18日(木) 京青会総会

於・第一ホテル東京アネックス

5月15日(木) 本部「総代会」

於・東京プリンスホテル

5月16日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア1階

5月22日(水) 第1回・ハイテクセンター・ランチセミナー

於・京華スクエア2階

5月23日(木) 平成25年通常総会次第

於・コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

司会 宇野副支部長

1、開会のことば

2、挨拶

森山支部長

3、議長および副議長の選出

4、議事

第1号議案 平成24年度事業報告

第2号議案 平成24年度収支決算報告

第3号議案 平成24年度会計監査報告

第4号議案 平成25年度収支予算(案)

第5号議案 次期役員選考委員の選任について

第6号議案 議長および副議長の解任

第7号議案 前支部長への感謝状および前期役員への記念品の贈呈

第8号議案 来賓紹介・挨拶

第9号議案 東京都印刷工業組合理事長

第10号議案 中央区長

第11号議案 中央区区民部商工観光課課長

第12号議案 中央区工業団体連合会会長

第13号議案 中央区商工観光団体合同事務局長

第14号議案 東京商工会議所中央支部事務局長

第15号議案 東京都印刷工業組合日本橋副支部長

第16号議案 小西 義雄様

第17号議案 東京製本工業組合京橋支部支部長

第18号議案 中央厚生事業協同組合専務理事

第19号議案 橋本 勝政様

第20号議案 中央厚生事業協同組合専務理事

第21号議案 谷島 豊様

第22号議案 閉会のことば

第23号議案 懇親会次第(19時15分開宴予定)

第24号議案 進行 恒本副支部長

第25号議案 挨拶 森山支部長

第26号議案 来賓挨拶

第27号議案 中央区工業団体連合会会長 水野 雅生様

第28号議案 長寿者 祝賀および記念品の贈呈

第29号議案 長寿者代表挨拶

第30号議案 京橋支部参与 白橋 達夫様

第31号議案 乾杯

第32号議案 京橋支部顧問 松岡誠一郎様

第33号議案 中 締

第34号議案 京橋支部相談役 神林 克明様

第35号議案 日本橋支部「定時総会」

第36号議案 於・銀座ブロッサム

第37号議案 中央厚生事協「通常総会」

第38号議案 於・銀座ラフィナート

第39号議案 東京製本工業組合京橋支部「通常総会」

第40号議案 於・銀座ブロッサム

第41号議案 於・銀座ブロッサム

第42号議案 於・銀座ブロッサム

第43号議案 於・銀座ブロッサム

第44号議案 於・銀座ブロッサム

第45号議案 於・銀座ブロッサム

第46号議案 於・銀座ブロッサム

第47号議案 於・銀座ブロッサム

第48号議案 於・銀座ブロッサム

第49号議案 於・銀座ブロッサム

第50号議案 於・銀座ブロッサム

第51号議案 於・銀座ブロッサム

第52号議案 於・銀座ブロッサム

第53号議案 於・銀座ブロッサム

第54号議案 於・銀座ブロッサム

第55号議案 於・銀座ブロッサム

第56号議案 於・銀座ブロッサム

第57号議案 於・銀座ブロッサム

第58号議案 於・銀座ブロッサム

第59号議案 於・銀座ブロッサム

第60号議案 於・銀座ブロッサム

第61号議案 於・銀座ブロッサム

第62号議案 於・銀座ブロッサム

第63号議案 於・銀座ブロッサム

第64号議案 於・銀座ブロッサム

第65号議案 於・銀座ブロッサム

第66号議案 於・銀座ブロッサム

6月6日(木) 本部支部長会

於・日本印刷会館2階

6月13日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

6月17日(月) 顧問・相談役・参与の会

於・宮川本店

6月26日(水) 第2回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

7月4日(木) 本部理事会

於・日本印刷会館2階

7月24日(水) 第3回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

7月30日(火) 部長・監査・京青会会長・地区長・幹事の会

於・銀座東武ホテル

9月5日(木) 本部支部長会

於・日本印刷会館2階

9月12日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

9月25日(水) 第4回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

9月26日(水) 90周年記念講演会

於・日本印刷会館2階

10月1日(火) 本部「敬老の集い」

於・明治記念館

10月3日(木) 本部支部長会

於・日本印刷会館2階

10月10日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

10月20日(日) 中央区子供フェスタ

於・浜町公園運動場

10月23日(水) 第5回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

10月24日(木) 顧問・相談役・参与の会

於・芝浦「牡丹」

11月7日(木) 本部理事会

於・日本印刷会館2階

11月11日(月) ミズノプリテックミュージアム見学・講演会

於・ミズノプリテック(株)内

11月14日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

11月20日(水) 第6回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

12月5日(木) 本部支部長会

於・日本印刷会館2階

12月11日(水) 第7回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

12月17日(火) 京橋支部「拡大幹事会」

於・銀座東武ホテル

▽平成26年

1月8日(水) 工団連「新年初顔合わせ会」

於・銀座プロッサム

1月16日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

1月22日(水) 第8回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

1月30日(木) 本部「新春の集い」

於・帝国ホテル

2月6日(木) 本部支部長会

於・日本印刷会館2階

2月7日(金) 支部90周年記念式典・祝賀会

於・帝国ホテル

創立90周年記念式典(17時開式)

1、開式の辞

白橋副支部長

2、物故者に対し黙祷

3、式辞

森山支部長

4、支部功労者に対し感謝状贈呈

5、受章者代表謝辞

京橋支部顧問 宇野 一男様

6、来賓祝辞

東京都印刷工業組合 理事長

島村 博之様

中央区工業団体連合会 会長

水野 雅生様

7、閉式の辞

永井副支部長

創立90周年記念祝賀会(18時開宴)

1、90周年記念事業スライド上映

2、開会の辞

3、挨拶

4、祝辞

中央区長

東京印刷工業組合日本橋支部 支部長

東京都議會議員

(株)小森コーポレーション 会長兼社長

立石 晴康様

小森 善治様

鏡開き

京橋支部印刷人青年会 会員紹介

中締め

閉会御礼の辞

90周年実行委員長 小宮山貴史

2月13日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

2月18日(火) 中央区中小企業工業関係者表彰式

於・銀座プロッサム

2月26日(水) 第9回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

3月6日(木) 本部支部長会

於・日本印刷会館2階

3月7日(金) 顧問・相談役・参与の会

於・京橋「美々卯」

3月13日(木) 部長・監査・京青会会長・地区長の会

於・京華スクエア2階

3月17日(月) 経営羅針盤実践ツール使いこなし

セミナー

3月26日(水) 第10回・ハイテクセンター・ラン

チセミナー

於・京華スクエア2階

慶弔報告

慶事(結婚)

○築地区

小森印刷(株)社長、ご長男

小森 洋平様

3月

▼湊地区

(株)蓬萊屋印刷所会長

森山道太郎殿

7月

▼八丁堀地区

(株)三田村印刷所顧問

三田村桂太郎殿

3月

支部員の異動

●脱退組合員

・築地区、福田印刷工業(株)

橋場 武雄殿

・新川地区、(株)幸文社石井印刷所

石井 治久殿

・月島地区、(株)マル企画

丸山 高志殿

・八丁堀地区、(有)幸文堂印刷所

山本 征一殿

・新川地区、プリントネットワーク(株)

吉川 清一殿

・京橋地区、日英舎印刷(株)

山田 明光殿

5月

10月

12月

12月

1月

3月